

平成21年9月定例会会議録（第2号）

平成21年9月4日 金曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

出席議員（18名）

| | | | | | |
|-----|---------|----|-----|---------|----|
| 1番 | 竹 田 博 一 | 議員 | 2番 | 鈴 木 悟 司 | 議員 |
| 3番 | 我 妻 昇 | 議員 | 4番 | 大 道 寺 信 | 議員 |
| 5番 | 谷 口 栄 子 | 議員 | 6番 | 蒲 生 光 男 | 議員 |
| 7番 | 佐々木 謙 二 | 議員 | 8番 | 安 部 隆 | 議員 |
| 9番 | 渋 谷 佐 輔 | 議員 | 10番 | 高 橋 孝 夫 | 議員 |
| 11番 | 大 沼 久 | 議員 | 12番 | 藤 原 民 夫 | 議員 |
| 13番 | 鈴 木 良 雄 | 議員 | 14番 | 小 関 勝 助 | 議員 |
| 15番 | 鈴 木 武 次 | 議員 | 16番 | 鈴 木 新 助 | 議員 |
| 17番 | 蒲 生 吉 夫 | 議員 | 18番 | 町 田 義 昭 | 議員 |

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

| | | | |
|-----------|---------------------|-----------|---------------------|
| 内 谷 重 治 | 市 長 | 新 野 潔 | 副 市 長 |
| | 総務課長兼選挙管 | | |
| 飯 澤 常 雄 | 理委員会事務局長 | 平 英 一 | 財 政 課 長 |
| 遠 藤 健 司 | 企 画 調 整 課 長 | 松 木 英 司 | 税 務 課 長 |
| 宇津木 正 紀 | 市 民 課 長 | 中 井 晃 | 健 康 課 長 |
| 船 山 祐 子 | 福 祉 事 務 所 長 | 高 橋 信 夫 | 会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長 |
| 遠 藤 敏 男 | 秘 書 ・ 危 機 管 理 主 幹 | 矢 久 保 浩 | 消 防 主 幹 |
| 飯 田 武 志 | 監 査 委 員 | 加 藤 弘 二 | 教 育 委 員 長 |
| 大 滝 昌 利 | 教 育 長 | 遠 藤 誠 一 | 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長 |
| 鈴 木 榮 一 | 農 業 委 員 会 会 長 | 遠 藤 正 明 | 農 林 課 長 |
| 齋 藤 理 喜 夫 | 商 工 観 光 課 長 | 鈴 木 一 則 | 建 設 課 長 |
| 平 進 介 | 管 理 課 長 | 那 須 宗 一 | 文 化 生 涯 学 習 課 長 |
| 渡 部 政 明 | 農 業 委 員 会 事 務 局 長 | 鈴 木 要 一 郎 | 上 下 水 道 課 長 |
| 佐 藤 孝 博 | 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 | 青 木 邦 彦 | 監 査 委 員 事 務 局 長 |

+

事務局職員出席者

松本 弘 議会事務局長 小関 浩幸 補佐
高橋 由美 主任 塚田 知広 主任

議事日程（第2号）

平成21年9月4日 金曜日 午前10時00分開議

日程第1 市政一般に関する質問

- 6番 蒲生 光男 議員
- 9番 渋谷 佐輔 議員
- 17番 蒲生 吉夫 議員
- 10番 高橋 孝夫 議員
- 2番 鈴木 悟司 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第2号）に同じ

+

+

+

開 議

○町田義昭議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、午前中の会議に遠藤敏男秘書・危機管理主幹の出席を要請しておりますので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○町田義昭議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますのでご協力をお願いいたします。

それでは、順次ご指名いたします。

蒲生光男議員の質問

○町田義昭議長 順位1番、議席番号6番、蒲生光男議員。

(6番蒲生光男議員登壇)

○6番 蒲生光男議員 おはようございます。

私の通告している質問は2点です。市長以下当局の皆様には、適切かつ明瞭なる答弁をお願いしておきます。

さて、昨今の新聞紙面は、新型インフルエンザと総選挙での民主圧勝を受けての今後の政権運営にかかわる記事が多くを占めています。私の質問もしゅんの話題である総選挙結果についてと新型インフルの問題であります。

8月30日実施された第45回衆議院総選挙結果は、民主が308議席を確保して圧勝し、公示前勢力115から308議席の2.7倍、自民が300から110議席の0.4倍にとどまり、公明も10減の21議席、社民は公示前7議席の確保、国民は1議席減らし3、みんなの党は1増の5議席確保、民主の一人勝ちとなり、今回の選挙の象徴的結果となりました。

民主党は、立候補者数327人の実に94.2%が当選し、比例近畿では候補者数が不足するという事態が発生しました。4年前、小泉首相が「郵政選挙」と銘打って行ったときの全く逆の現象となってしまいました。「小泉チルドレン」などとやゆされた多くの議員は、今回は「小沢ガールズ」と言われるように、自公の有力大物議員に刺客として若い女性候補を送り込みました。

以下はネットによる記事引用です。その象徴的な選挙区、長崎2区、久間元防衛大臣と対峙した福田衣里子さんは、薬害肝炎九州原告団代表に就任し、訴訟団のリーダーとして実名を公表し、その対策に頑張っている姿はブラウン管を通し国民に記憶されました。福田さんは、「政治によって命が奪われることがあったが、政治によって救える命がある」が立候補の決意の一つでありました。当確判明後、諫早市内の事務所で、福田氏は、「今までは強い者のための政治だった。これからは一人一人の命を大切に政治を変えたい」と話しています。

また、森元首相に立ち向かったのは、田中美絵子さん。河村たかしさんの秘書経験のある33歳。

谷垣禎一元政調会長に挑戦したのは、自衛官

+